

2 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所

(1) 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所数の年次推移

平成30年末現在の就業歯科衛生士（以下「歯科衛生士」という。）は132,629人で、前回（平成28年）に比べ8,798人（7.1%）増加している。

就業歯科技工士（以下「歯科技工士」という。）は34,468人で、前回に比べ172人（0.5%）減少している。

歯科技工所は21,004か所で、前回に比べ98か所（0.5%）増加している。（表4）

表4 就業歯科衛生士・歯科技工士及び歯科技工所数の年次推移

（単位：人、か所）

	平成20年 (2008)	22年 (’10)	24年 (’12)	26年 (’14)	28年 (’16)	30年 (’18)	各年末現在	
							対平成28年 増減数	増減率(%)
歯科衛生士	96 442	103 180	108 123	116 299	123 831	132 629	8 798	7.1
歯科技工士	35 337	35 413	34 613	34 495	34 640	34 468	△ 172	△ 0.5
歯科技工所	19 369	¹⁾ 19 443	19 706	20 166	20 906	21 004	98	0.5

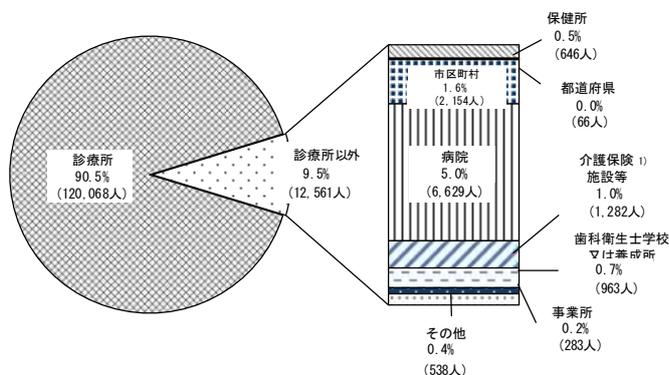
注：1)平成22年の「歯科技工所」は、東日本大震災の影響により、宮城県が含まれていない。

(2) 就業場所別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士

就業場所別にみると、歯科衛生士は「診療所」が120,068人（構成割合90.5%）と最も多く、歯科技工士は「歯科技工所」が25,056人（72.7%）と最も多くなっている（図6、図7）。

図6 就業場所別にみた就業歯科衛生士

平成30年末現在

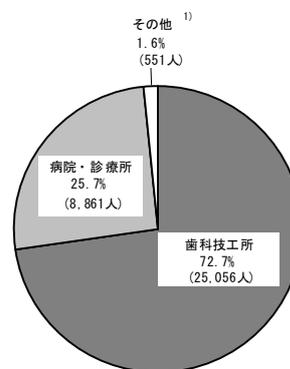


注：括弧内は実人員である。

1) 「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」、「介護医療院」、「指定介護老人福祉施設」、「居宅介護支援事業所」等をいう。

図7 就業場所別にみた就業歯科技工士

平成30年末現在



注：括弧内は実人員である。

1) 「その他」とは、「歯科技工士学校又は養成所」「事業所」等をいう。

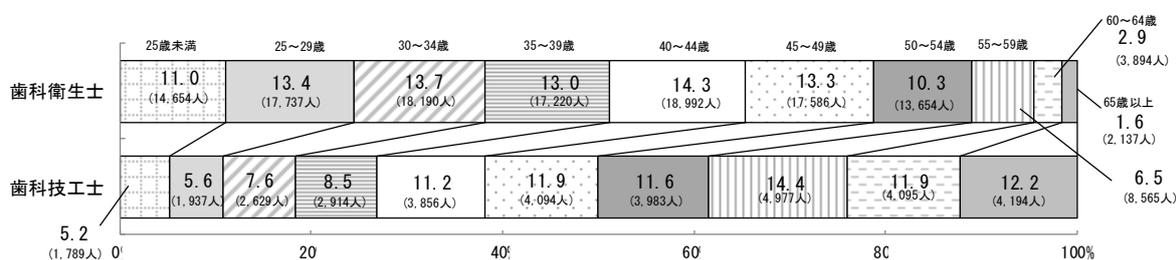
(3) 年齢階級別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士

年齢階級別にみると、歯科衛生士は「25～29歳」から「45～49歳」にかけておおむね均等に分布している。

歯科技工士は「55～59歳」が4,977人（14.4%）と最も多くなっている。（図8）

図8 年齢階級別にみた就業歯科衛生士・歯科技工士

平成30年末現在



注：括弧内は実人員である。